



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 東リ株式会社

コード番号 7971 URL <http://www.toli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 荒木 陽三

TEL 06-6494-6691

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	41,917	3.7	548	141.0	644	127.9	352	173.8
26年3月期第2四半期	40,436	2.1	227	△27.8	282	△12.5	128	82.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 687百万円 (70.4%) 26年3月期第2四半期 403百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	5.71	—
26年3月期第2四半期	2.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	66,123		26,319		39.6	
26年3月期	68,800		26,043		37.7	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 26,208百万円 26年3月期 25,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,400	1.9	2,850	11.6	2,900	10.1	1,800	34.4	29.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	66,829,249 株	26年3月期	66,829,249 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	5,122,798 株	26年3月期	5,117,509 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	61,709,749 株	26年3月期2Q	62,214,751 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動で個人消費は弱含んだものの、設備投資の増加や雇用情勢の改善など、緩やかな回復基調が続きました。インテリア業界におきましては、前期の建築着工が堅調に推移した影響などにより内装材需要は増加しましたが、夏場以降は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動で住宅分野を中心に弱含む動きがみられました。また、主要原材料価格やエネルギーコスト、物流コストの上昇により、利益面では厳しい環境となりました。

こうしたなか、当社グループは独自性のある製品開発や高付加価値製品の拡販、原価低減や販売価格の底上げに努めたことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は41,917百万円（前年同期比 3.7%増）、営業利益は548百万円（前年同期比 141.0%増）、経常利益は644百万円（前年同期比 127.9%増）、四半期純利益は352百万円（前年同期比 173.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

<プロダクト事業>

塩ビ床材では、高耐久の防汚性能によりワックスメンテナンスを不要にした医療・福祉施設向けのビニル床シート「ホスピリウムNW」や「SFフロアNW」が売上を伸ばしたほか、木目調のビニル床タイル「ロイヤルウッド」が堅調に推移しました。カーペットでは、一般オフィス向けでデザイン性の高いタイルカーペット「GA-100W」の売上が増加し、壁装材では、木目などの素材感をリアルに表現した化粧仕上材「リアルデコ」が売上を伸ばしました。一方、カーテンは、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響を受け、売上は前年同期を下回りました。これらの結果、プロダクト事業の売上高は25,911百万円（前年同期比 5.0%増）、セグメント利益は511百万円（前年同期比 429.0%増）となりました。

<インテリア卸及び工事業>

インテリア卸事業では、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動で夏場以降は住宅分野が弱含んだものの、非住宅分野での需要が底堅く推移し、塩ビ床材を中心に売上が増加しました。また、工事業では、ホテルリニューアルや新築マンション等の受注が増加し、工事売上は堅調に推移しました。これらの結果、インテリア卸及び工事業の売上高は27,055百万円（前年同期比 2.3%増）となりましたが、販売促進のための費用が増加したことなどから、セグメント利益は247百万円（前年同期比 5.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産については、季節変動に伴う売上債権の減少等により、前期末に比べ2,677百万円減少し、66,123百万円となりました。

負債については、仕入債務の減少等により、前期末に比べ2,952百万円減少し、39,804百万円となりました。

純資産については、株式の時価の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等により、前期末に比べ275百万円増加し、26,319百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内経済は緩やかな回復基調が続くとみられますが、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動で住宅着工戸数が低調に推移するなど、内装材需要の先行き不透明感は否めません。また、主要原材料価格やエネルギーコストが高水準で推移しているほか、物流コストの更なる上昇が見込まれるなど、事業環境は楽観できない状況であります。

こうしたなか、当社グループは中期経営計画『改革・成長 2014』の連結最終年度目標である売上高900億円、経常利益25億円、ROA（総資産経常利益率）4%以上を達成すべく努力してまいります。

『改革・成長 2014』では、重点戦略「構造改革による事業基盤の強化」として、当社グループの中核である塩ビ床材・カーペット事業の構造改革を進めるほか、品質、機能、デザイン面での競争力強化を図ってまいります。また、カーテン・壁装材事業では、事業効率の向上による収益力強化に努めてまいります。もう一つの重点戦略「成長領域の攻略」では、アジアをはじめとする海外での事業拡大を進めるほか、技術開発を通じて既存事業の周辺領域への事業拡大を図ってまいります。

なお、連結業績予想につきましては、平成26年10月20日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が200百万円、退職給付に係る資産(投資その他の資産の「その他」に含めて計上)が44百万円それぞれ増加し、利益剰余金が100百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,139	8,015
受取手形及び売掛金	27,446	22,250
有価証券	716	716
商品及び製品	6,788	7,578
仕掛品	902	1,089
原材料及び貯蔵品	1,476	1,431
繰延税金資産	408	427
その他	890	1,047
貸倒引当金	△280	△272
流動資産合計	45,488	42,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,758	4,655
機械装置及び運搬具(純額)	1,612	1,689
工具、器具及び備品(純額)	290	267
土地	8,371	8,310
リース資産(純額)	36	45
建設仮勘定	206	533
有形固定資産合計	15,276	15,501
無形固定資産		
ソフトウェア	581	484
その他	50	52
無形固定資産合計	632	537
投資その他の資産		
投資有価証券	4,091	4,522
長期貸付金	127	114
繰延税金資産	1,201	1,083
その他	2,329	2,435
貸倒引当金	△345	△354
投資その他の資産合計	7,403	7,801
固定資産合計	23,312	23,840
資産合計	68,800	66,123

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,855	21,216
短期借入金	1,219	1,910
未払法人税等	684	282
未払費用	1,657	1,475
賞与引当金	620	669
その他	1,387	1,583
流動負債合計	29,423	27,138
固定負債		
長期借入金	6,800	6,000
退職給付に係る負債	4,127	4,302
その他	2,405	2,363
固定負債合計	13,332	12,666
負債合計	42,756	39,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,423	6,423
利益剰余金	13,466	13,409
自己株式	△1,115	△1,116
株主資本合計	25,629	25,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	817	1,099
退職給付に係る調整累計額	△510	△463
その他の包括利益累計額合計	306	636
少数株主持分	107	111
純資産合計	26,043	26,319
負債純資産合計	68,800	66,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	40,436	41,917
売上原価	29,820	30,600
売上総利益	10,615	11,316
販売費及び一般管理費	10,388	10,768
営業利益	227	548
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	46	54
仕入割引	39	38
その他	115	158
営業外収益合計	206	255
営業外費用		
支払利息	63	57
売上割引	57	66
その他	29	35
営業外費用合計	151	159
経常利益	282	644
特別損失		
固定資産除却損	7	14
投資有価証券評価損	—	12
特別損失合計	7	27
税金等調整前四半期純利益	275	617
法人税、住民税及び事業税	132	285
法人税等調整額	8	△26
法人税等合計	140	259
少数株主損益調整前四半期純利益	134	357
少数株主利益	5	5
四半期純利益	128	352

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	134	357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	268	281
退職給付に係る調整額	—	47
その他の包括利益合計	268	329
四半期包括利益	403	687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	397	681
少数株主に係る四半期包括利益	5	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	275	617
減価償却費	584	590
固定資産除却損	7	14
投資有価証券評価損益(△は益)	—	12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20	1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△25
受取利息及び受取配当金	△51	△57
支払利息	63	57
売上債権の増減額(△は増加)	4,970	5,194
たな卸資産の増減額(△は増加)	311	△931
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,149	△2,687
その他	△257	△97
小計	2,735	2,687
利息及び配当金の受取額	51	57
利息の支払額	△63	△57
法人税等の支払額	△517	△681
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,205	2,006
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△453	△538
無形固定資産の取得による支出	△175	△16
投資有価証券の取得による支出	△13	△2
貸付けによる支出	△436	△2
貸付金の回収による収入	494	15
その他	15	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△568	△509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1	△9
長期借入れによる収入	1,100	200
長期借入金の返済による支出	△1,300	△300
配当金の支払額	△311	△308
その他	△289	△212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△799	△630
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	840	878
現金及び現金同等物の期首残高	6,218	7,792
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,059	8,671

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,171	26,264	40,436	—	40,436
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,501	183	10,685	△10,685	—
計	24,673	26,448	51,121	△10,685	40,436
セグメント利益	96	261	357	△75	282

(注)1 セグメント利益の調整額△75百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,036	26,880	41,917	—	41,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,874	174	11,049	△11,049	—
計	25,911	27,055	52,966	△11,049	41,917
セグメント利益	511	247	758	△114	644

(注)1 セグメント利益の調整額△114百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。